たつくす

4 号

'83. 8.



淀橋物品税協力会

会長就任のご挨拶



淀橋物品税協力会
会　長
奥住　弘

残暑なお厳しき中、会員の皆様には益々御健勝のこととお慶び申しあげます。

昨年は申告納税制度施行20周年にあたり、新たなスタートを迎えましたが、この時期に昭和57年度淀橋物品税協力会の定期総会に於いて会長に選任され、責任の重、且つ大なる事を痛感いたしております。

思えば当協力会創設以来、会員の一人として、皆様と共に協力会活動に携ってまいりましたが、その間の変貌には目をみはるものがありました。

当会員数は315の多数にのぼり、青年部・婦人部の創設、会報「たっくす」の発刊等充実の一路をたどる中で、社会環境は成熟社会に突入し、低成長経済は税負担の公正化と効率使用を求める論議になり、行政面では、税収確保の為に大型間接税の導入検討や行政改革が推進される等、協力会活動の必要性は益々強まっております。

この様な状勢の中で、二村名誉会長を始めとする各役員、並びに会員の皆様方のより一層の御支援・御協力と、宮澤新署長以下税務当局の御指導をいただき、自主申告納税制度及び税務知識の普及徹底、税務行政への改善要望、協力会組織の拡充、会員相互の親睦促進等に青年部・婦人部と手を携えて、精一杯努力していく所存です。

何卒よろしくお願いいたします。

終りにあたって、二村前会長並びに小松前署長の今迄の御尽力を感謝し、御挨拶とさせていただきます。

着任の御挨拶



淀橋税務署長
宮澤義幸

暑さなお厳しい折から、皆様にはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

この度の定期異動で、小松前署長のあとをうけて、東村山税務署長から淀橋税務署長に着任致しました宮澤でございます。

今度は図らずも東京の副都心として関心を集めている新宿及びその周辺を管轄する淀橋署で仕事を致すこととなり、喜びとともに身の引き締る思いでおります。

先日の参議院選挙にもみられますように、国民一般の税に対する関心は非常に高く、課税の公平と税制のあり方について論議を呼んでいることは、皆様も十分御承知のことと思いますが、我が国の経済の流れは経済構造のソフト化、コンピューター化及び国際化が進展しつつあり、税務行政の流れにもその影響が少なからず出ております。

従いまして私共は、これらの経済情勢の変化に的確に対応して、国民の信頼に応える税務行政を確立すべく努力してまいります。

しかしながら、このことは、納税者の御協力なしに実現できるものではありません。幸にも淀橋物品税協力会は、会長さん、役員さんを始め会員の皆さんの非常な御努力により、活発な会活動が行われ顕著な成果を上げておられます。

どうか、今後とも従来に増して深い御理解と御協力をお願い申し上げる次第でございます。

終りに、淀橋物品税協力会の益々の御発展と会員の皆様方の御繁栄と御健勝を心からお祈り申し上げ、着任の御挨拶といたします。

名誉会長就任にあたって



淀橋物品税協力会
名誉会長
二村驥一

残暑厳しい折、会員の皆様方にはますますご健勝のことと拝察申し上げます。

私は、昭和54年４月に黒川前会長（現顧問）の後を引き継ぎ、当会々長を務めることとなり、早いもので満４年２期を務めさせていただきました。そして、本年５月の定期総会において、副会長の奥住弘氏が会長に推挙され、私は名誉会長に就任させていただくこととなりました。

任期中は、役員はじめ、会員皆様方から一方ならぬご支援、ご協力を賜わり、つつがなく会務を遂行できたことに対し、衷心よりお礼申し上げます。

顧みますとこの４年間、ご当局の署長さんも、橋本署長さん、六部署長さん、安間署長さん、小松署長さん、そして宮澤署長さんと替られ、歴代署長さん皆さん共、会の運営に対し深いご理解を示していただき、ご指導、ご協力を賜わりましたことに対し厚くお礼申し上げます。

在任４年間、幾多の会活動を通じ印象に残るものとしては、何といっても、婦人部会の結成（56年６月）が挙げられます。また会報「たっくす」を創刊（57年1月）し会員に配布した他、諸行事全般を大過なく遂行できたことを何よりの喜びとしております。

今後は会員皆様方と共に、新会長による会の運営を側面から援助し、更に会の発展のために微力を尽してまいりたいと存じています。

最後になりましたが、会員皆様方におかれましては、ご事業のご繁栄と、ご健勝を心から祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

お別れのご挨拶



前 淀橋税務署長
小松幹雄

暑さ厳しき折から会員の皆様にはますますご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、私こと、この度の定期異動をもちまして永年に亘った税務の職場から去らして戴くことになりました。

昨年７月、淀橋税務署長を拝命して着任以来１年間の短期間ではございましたが会員各位からお寄せ戴いたご厚情に対し心から御礼申し上げる次第でございます。

顧みますと同じ税界とはいえ一線を離れた教育機関である税務大学校から、新都心として日に日に発展を遂げつつある新宿を管内にもつ「淀橋」ということで緊張のうちにも大きな決意をもって仕事につきましてから早や１年を経過致しました。

この間、税務行政の運営にあたり各協力会の絶大なご協力、ご援助により円滑に実施出来ましたことにつきまして紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

淀橋物品税協力会にありましては会長さん始め役員の方々の非常なご努力により、その活動は活発で成果も顕著なものがあります。とくに「税を知る週間」における宝石の無料鑑別会は関係者の格別のご協力を得て毎年盛況を続け都内でも注目される行事の一つとなっております。

そのほか研修会の開催、機関誌の発行など活動状況はめざましいものがあります。

ここに改めて敬意と感謝を申し上げたいと思います。

終りに淀橋物品税協力会の益々のご発展と会員各位のご繁栄、ご健勝を心から祈念して御礼のご挨拶といたします。

奥住会長・二村名誉会長の新体制で

今年度の事業計画決まる

昭和57年度定期総会

昭和57年度の当会の定期総会は、5月24日午後4時から、小田急豪華の会議室において、淀橋税務署から小松署長始め幹部の方々を来賓に迎え、役員並びに会員37名が出席して盛大に開催されました。

まず、二村会長はあいさつの中で前年度の活動の主なものとして、

(1) 婦人部員を中心として署幹部と身近な税の問題について座談会を開催したこと。

(2) 税を知る週間に特別行事として宝石の無料鑑別などを実施したこと。

(3) 青年部・婦人部主催で秋の研修旅行を行ったこと。



▲総会終了後の懇親会の席で

など、充実した活動に触れました。

次いで、任期満了に伴う役員改選により、新会長に奥住副会長が就任し、二村会長は名誉会長として会務にご助力戴くことになりました。



▲新役員の代表あいさつをする奥住新会長

奥住新会長は

(1) 未加入者への加入勧奨と組織の強化を図る。

(2) 税制論議が高まる中で、上部団体を通じ会の意見を反映させていく。

(3) 会員各位の協力を得て会の発展に努力したい。

と就任のあいさつをされました。

議決された本年度の事業計画

1 組織の拡充強化のために未加入者に対する加入勧奨を積極的に行います。

2 説明会・研修会などを開き物品税や印紙税の知識を深めるようにします。

3 青年部・婦人部により、レクリエーション、工場見学会の活動を行います。

活 動 日 誌

58. 1. 会報「たっくす」3号発行
3. 29 理事会 総会の運営について
4. 15 税務連絡懇談会 会長出席
4. 20 局間連研修会 於農協ホール
当会青年部、婦人部10名出席
4. 26 城西地区連理事会
於練馬税務署
5. 11 税務連絡懇談会 副会長出席
5. 20 局間連通常総会・創立10周年記念式典 於サンケイホール
58. 5. 23 説明会開催（物品税・印紙税）
～ 25 販売業者証明書の更新
未加入者に対し会の趣意説明と加入勧奨
5. 24 定期総会（上掲）
6. 14 城西地区連定期総会
於東中野日本閣
6. 22 税務連絡懇談会
会長他2名出席

新入会員の紹介

第１種第１地区

(株)アイ光学
鎌倉剛介　（２０９）５１０８
新宿区新宿５－18－11　谷川ビル４Ｆ

第一家庭電器(株)
鈴木起男　（３５２）７２４１
新宿区新宿６－23－15

(有)ヨシマル
吉住　明　（２３２）８８３７
新宿区歌舞伎町２－３－22　吉住ビル

第１種第２地区

(株) 英　円
渡辺新吾　（３４２）２０８７
新宿区西新宿３－５－３　ダイヤモンドパレス208

木 内 憲 博
アトリエ一歩　（４１６）６０３７
新宿区西新宿３－27－28・宝幸ビル

佐々木豊尚
ササキ貴金属宝石商会（３７５）６９００
新宿区西新宿５－８－３第一明治ビル３Ｆ

第１種第３地区

(株)大和宝商
松丸洋一　（３６０）３０８８
新宿区百人町２－４－５－７０７

西 川 啓 子
源　州　（３６１）７３８１
新宿区北新宿３－２－16－907

第１種第４地区

(有)イトウアート商会
伊藤六男　0423(22)０９７８
新宿区上落合２－12－１

大 澤 智 司
ノビイ宝飾　（９５１）６８６２
新宿区中落合１－４－６

(有)ユベール・ファルマ
寺沢　孝　（９５２）９９６９
新宿区下落合３－14－35

第１種第５地区

相 沢 重 明
リオグランデストーン　（２０９）３５３４
新宿区高田馬場２－10－９

署の人事異動　７月12日付

着　任

ポスト	氏　名	前　任
署　長	宮澤義幸	東村山署長
副署長（間税）	渡邊幸男	局間調１統括官
〃（法人税）	山田康王	川崎北副署長
総務課長	古藤力夫	厚木署総務課長
間税特官	植松正次	東京派遣監察官
間税１統括官	小松﨑豊	局間調3総括主査
〃 総括上席	相吉澤英信	神奈川署間上席
間税１	浅沼亮子	国税庁査察課
〃	長崎恒治	税大普通科42期
間税２統括官	嘉賀敬三	局間監視管理課主査
〃 上席	菅原捷三	市川署間上席
〃 調査官	西村和義	局間監視１部門調査官
〃 調査官	長谷川睦雄	蒲田署法７調査官
〃	小林　忠	国税専門官採用13期

離　任

ポスト	氏　名	発令先
署　長	小松幹雄	辞　職
副署長（間税）	下山幸雄	東京派遣主任監察官
〃（法人税）	深澤　廣	局人事調査官
総務課長	中島　登	税務大学校研究部教授
間税特官	鈴木亮二	麹町署間税特官
間税１統括官	高野　豊	渋谷署間税特官
〃 総括上席	田中　斌	館山署間税統括官
〃 上席	岡田芳夫	辞　職
〃	田中美津子	板橋署間税調査官
間税２統括官	津山智明	玉川署間税統括官
〃 上席	横尾　進	中野署間税上席
〃 調査官	小野田順一	局間酒税課実査官
〃	竹ノ谷比呂志	武蔵野署間税調査官

髪の健康

いつまでも〝しっとり艶のある髪〟これは万人の願い。これには手入れが!!
今回はアリミノ化粧品さんにお手数を煩わせ資料を戴きましたので御紹介します。

（夏の髪化粧について）

日本の四季は美しい。季節により移り変わる風情はなんともいえません。

しかし、皮膚や毛髪の美容という面から考えてみるとこの四季の移り変わりを単に美しいものと楽しんでばかりはいられません。

この自然の変化は想像以上の負担を皮膚や、毛髪に与えているのです。

従って皮膚や毛髪をすこやかに保つためには、四季それぞれの気候、環境に応じたお化粧法がある筈です。

今日はその中で夏の髪のお化粧法について考えてみましょう。

（夏の美容での問題点）

夏の美容を考える上で無視できない第一の問題点は汗でしょう。

汗が出るということは体温を調節すること、皮膚の表面に酸性の脂肪膜をつくって外部からの刺激や細菌の攻撃を防ぐ役目を持っています。

しかし、このような有用な汗でも必要以上にたくさん出てしかも皮膚や毛髪の表面に長く留まっている中に有害なものに変わって来ます。

汗がたくさん出ると前述の酸性の脂肪膜のペーハーが高くなって皮膚表面の殺菌効果が弱くなり、化膿し易くなって、あせも等が出来て来ます。又汗が分解して臭くなるし、わきがのある人は匂いが余計強くなります。

夏の髪化粧のポイントの第１は汗を上手に処理することです。

次に太陽光線も夏の美容について無視出来ない問題の一つです。

さんさんと降りそそぐ日光、海に山に太陽を一杯に浴びる若者達。

こう描いて来るといかにも健康そのものですが、実は、その裏側では毛髪が強い紫外線で気がつかないうちにひどく傷められているのです。紫外線に加えて、風や海水の影響が加われば毛髪はその重圧に耐えかねなくなります。

太陽対策も夏の髪化粧にとって欠かすことのできないポイントの一つです。



（夏　の　洗　髪）

汗を上手に処理するには正しい夏の洗髪法を研究することです。

夏は汗が多く分泌して毛髪の汚れもひどいので、シャンプーの回数も多くなりシャンプーの回数を気にする人がいますが気にすることと自体がナンセンスです。

毛髪が汚れて気分が悪ければ洗えば良いので、毎日シャンプーしようが、３日に一度にしようが髪に及ぼす影響はほとんど変わりません。

問題はその洗い方にあるのです。

夏は汗のために毛髪や地肌のペーハーが高くなることは前にも申しましたが、その結果として汗臭さや、枝毛、裂け毛、抜け毛になり易いのでシャンプー剤としては良質の酸性シャンプーがよいでしょう。

シャンプーは２度洗いが常識といいますが、これは汚れている時のことで夏のようにシャ

ンプーの回数が増えて汚れがそれほどひどくない時は一度洗いで結構です。要するに一度目から泡が良く出るようならば二度洗いの必要はありません。

又、シャンプー剤の使用量も回数が多い時は少な目にしましょう。多く使い過ぎると、時として毛髪を傷めることがあります。

シャンプー操作中のもみ洗いは枝毛を作る原因となりますからすぐやめましょう。

又、泡立てからブラシや櫛で毛髪を強くこすることは毛髪のキューティクルを傷めますからこれもやめて下さい。

シャンプー操作で大切なことは、シャンプー剤のすすぎを十分にすることです。

すすぎが悪いと毛髪や地肌に残った洗剤が毛髪を傷め、地肌を刺激してフケを多くします。シャンプーして翌日にはもう頭が痒いというような人は、このすすぎが悪い人です。

すすぎの悪い洗濯物は黄ばんで来て生地が傷んで来るのと同じことなので十分過ぎる位にすすいで下さい。

シャンプー後は必ずリンスをして下さい。

毛髪に電気の起きるのを防いで毛髪のもつれがなくしなやかになります。

毛髪を良く保つにはリンスだけでは不足です。シャンプーに関係なく、毎朝、洗い流さないタイプのヘアコンディショナーを使用して下さい。

たとえ少量ずつでも、毎日の積み重ねが毛髪の健康維持に大切な役割りを果たします。

（太陽光線と毛髪）

日光は人間生活にとって大切なものです。

それ故、日照権をめぐって裁判沙汰さえ起きているのです。

しかし、過ぎたるは及ばざるが如し ―― 皮膚や毛髪が受けている外界の刺激の中で、有害なものの一つにこの日光が挙げられています。長時間、日光に当る仕事をしている人は肌のキメが荒く、かさかさしており毛髪も赤茶けて艶がなくなっていることは御存知のとおりです。

折角有用な太陽光線も過剰になると日光皮膚炎という炎傷を起こしたり、日焼けがしみ、ソバカス、しわの原因になったり毛髪を乾燥させて脆くしたり秋の抜け毛の原因ともなります。

海や山に行く時に目はサングラスで保護し、皮膚は日焼け止めクリームをたっぷり塗っている人でも毛髪は意外に無防備です。少くとも帽子で保護しましょう。

又、毛髪についた海水はその日のうちに洗い落さないと後で塩が析出して来ます。塩分が生体を乾燥させることは「なめくじ」に塩をかけることでも判ります。

海から帰ったらその日の内に必ずシャンプーしましょう。

太陽光線と海水で毛髪は相当いじめられていますからこの時のシャンプーは特に気をつけてソフトタッチで洗います。

又、地肌に砂が残っている場合もあるので、地肌も強くこすらないことが大切です。

（秋の抜け毛は夏の不節制のあらわれ）

よく“秋の抜け毛”といいますが、生理的には秋に脱毛が多いことはありません。

秋に抜け毛の多い人は、夏に海や山に行って直射日光を浴びて毛髪を傷め、地肌を乾燥させた結果毛根部が弱まって脱毛するのです。

又、暑いからといって冷たい飲み物を飲みすぎて胃腸を悪くすることも抜け毛の原因となります。

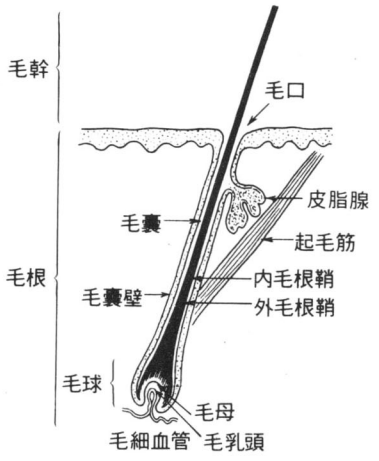
夏は外出から帰ったら出来るだけシャンプーをして普段よりも多目に!!

ヘアコンディショナーを、毛髪は勿論のこと、地肌にも十分にすり込んで!!

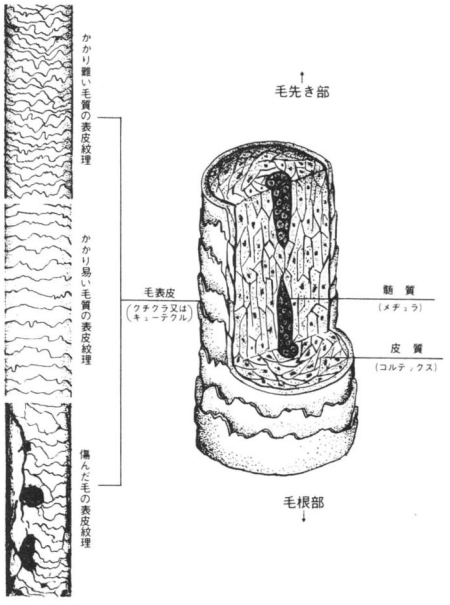
良い毛髪を保つように心掛けましょう。



第１図　頭髪の構造



第２図　頭髪の断面図



第１図の説明

毛髪は皮膚の付属器官です。従って皮膚を大切にすることが良い毛髪を保つ条件といえます。シャンプーのときも、ヘアーのお手入れの時も、地肌をお忘れなく。

毛髪は図のように皮膚から斜めに生えています。この毛の生え方（毛流）に逆らってヘアスタイルをしても良い仕上りにはなりません。皮脂腺は脂を分泌させる器官です。この腺の働きの活発な人はオイリーヘアです。起毛筋は人間が進化する以前からの機能の名残りで、外敵に対して毛をふくらませて大きく見せるための筋肉です。（喧嘩している猫を想像して下さい）従って、怖い目にあったとき、驚いたときにこの筋が働いて、所謂、総毛だつという現象を生みます。

毛乳頭は毛髪の成長を司どる神経部分で、この神経が健全である限り毛髪はいくら脱けても、抜いても次から次へと生えて来ます。火傷や怪我をしてこの神経が死んでしまった場合には毛は再び生えて来ません。

男の人に多い禿も、この神経の退化によるものです。

第２図の説明

毛髪は３層から成り立っていて、最も大切な毛髪の本質といわれるのは中間の毛皮質の部分で、外側のキューティクルはその大事な皮質を守る保護的な脂で、魚の鱗のような形で重なり合っています。この重なり合いがあらい毛髪は隙間が多いために乾燥し易い性質を持っています。この重なり合いがびっしりと混んだ髪の場合は乾燥や傷みに対して強い毛髪です。その代りに薬品類を毛髪内部に浸透させ難いのでコールドパーマがかかり難く、ヘアダイも染まり難いことがあります。

傷んだ毛髪というのは、左図の一番下の部分のようにこの鱗が剝がれ落ちたり、ずれたりしていて外気や水分が自然に毛皮質に出入りし易くなっています。この鱗の隙間をオイルで防いで、外気による一層の乾燥化を防ぐのがヘアークリームやヘアートリートメントの役目です。

「信用と先見性で…」

各界著名の士である会員からお話しを！
今回は質屋業界トップにあってご活躍中の、カワノ商事㈱社長川野政三氏に、今日有るまでの苦労話しや、営業信条などのあれこれを、非常に忙しいなか時間を割いて頂きました。

○今日は、初めてお目にかかります。
新宿駅や、いろんな所でよく宣伝をおみかけして、新宿というイメージの会社ですが、まず社歴からお話しして頂けますか。

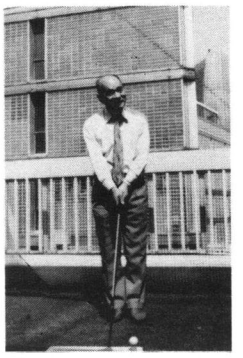
□昭和23年に会社を設立しました。神田で洋服の卸をしていましてその頃〝高久さん、三峰さん〟などに卸していました。あの頃は〝一織ガチャマン〟（一織一万円）と言われた戦後の時代で物が手に入れば売れる時代でした。中京の津島、一の宮まで仕入れに行ったもので本当によく売れました。
儲りましたネ。しかしよく働きましたヨ。

○質屋さんのイメージが強いのですが？いつから始められましたか。

□神田で洋服卸をしている頃も家内が新宿で質業をやっていました。自分には不向きな仕事であり又性格に合っていないというのが正直なところです。

○ＴＡＸに関係ありそうな話題を一つ。

□その戦後の時代品物があればよく売れた頃、それは儲って、儲って、だが結局目先だけの儲けではいけませんね、第一そういう金は雑に使うよとよく言われたものです。まあいろんなことに神経を使うより、仕事に神経を使った方がそれは健康的にもよいことです。そんな過渡期を過ぎ会社をきちんとしなければと経理専門の人を入れました。ところがですね、税務署の方に不正を見付けてもらったことがあったんですよ。実は当時当局の特別調査を受けたんです。それが、私共は地元の銀行しか取引していないのに、池袋の銀行に私共の小切手が毎日入るということでこれが調査の入った原因であったようです。ところが調査したところ経理担当者が不正をしていたわけなんです。こんなこともありました。まあ使用人のしたことですが、全く寿命の縮む思いでしたヨ。



お金は〝命〟の次だ、一番大切なものが〝命〟その次が〝金〟ですか。
あなたは違いますか。名誉？
昔と違って学歴、感謝状。今はお金の時代だ、金の為人を殺す人もいるし。
私の場合はお金が２、３番です。

○そろそろお商売のポリシーと時代の先取りの為の勉強はどうなさったか。
人生のポリシーなどを聞かせて下さい。

□〝信用ない商売は商売ではない〟信用が今日のカワノを作ったんです。
それと時代を読むことです。私共では、質、金融の商売から新しい貴金属小売店へと転換しており、新しい店作りを目指しております。
明治の頃は銀行以上の信用が有りました。
カワノは金融ですがお客様の希望があれば質もします。
あたりまえのことですがお客様の立場、身になって低利、高額融資、秘密を大切にしています。
それにどの商売にもカワノと云う自分の名前を使っています。自信と信用があるから。
〝人から騙されても、人を騙すな〟
これ親から言われていますから経験と共に大切に守るこの商道を続けています。
私の長兄（故人）が秀れた人で思考力あり、又努力家で如才がなく、すべてに秀れた兄であったと尊敬しています。
運がよかったんですネ。
でも努力一筋かな？
見て覚える。研究する。考える。やはり努力からこれらは生れると思います。

○これからの方針について。

□人材の育成、これが遅れた気がします。
今後の方針課題です。

税務署と古文書 Ⅱ

間税第１部門統括官　高野　豊

前号で紹介した「税務署と古文書」について続編をと云う声があり、ここに拙文を重ねることとなった。

ここでいう「古文書」なるものは調査関係資料が主であり秘文書であるため、その全貌をご披露出来ないがとり残し分を署の一般蔵書などを参考としながらお伝えすることとする。

まずこの地域の様子について明治以降の変遷を辿ってみよう。

幕末の頃、旧江戸の西郊として田畑のなかに幕府の士邸が多く見受けられ、当時は農地60％、武家地30％、寺社領５％の割合であった。

ご一新後幕府士邸は撤去されて桑、茶畑とされたが百人町には猶士族の居宅が多く残っていたらしい。

又尾張徳川家の屋敷が薩摩軍勢の駐留地となり、これが後年陸軍用地に伸展していったものである。

この辺りかなり広い地域が軍の演習地として使われ、御滝橋が格好の争奪目標となり兵隊が附近の畔道を散開して進むのを、東中野方面の台地から射撃するさまなどがかなり後まで見られたという。

明治の中頃においても未だ角筈（約73町）、西大久保（72町）、下落合（63町）、柏木(61町）などかなりの農地があり、まさに今昔の感がある。

なお、ご存知のとおり武蔵野の地層は関東ローム層で田に適せず、畑主体でその比率は大体1：6位で市内への蔬菜の供給地であった。

ところで、今や都内交通の中心となっている「新宿」であるが明治時代の交通はどうだったのだろうか。

明治18年山手線の新宿駅は開設されたが、当時は甲州：奥州方面からの木炭などの集積地に過ぎず、同22年甲武線（中央線）が併設され始めて駅らしくなったもので現在の日本一のマンモス駅からは想像も出来ない。

さて大正も中期に進むと内藤新宿が市街化しこれに伴い淀橋、戸塚地区の宅地化も進んだ。

そして関東大震災を契機として西郊への人口移動は顕著となって、本地域は商工業地と住宅地とに大きく変貌し農村の面影を駆逐したのである。

ちなみに、大正12年における旧淀橋税務署（豊多摩郡）管内の農家戸数は 2,403 戸であった。

現在は10戸で現淀橋署には農業所得者はない。

次いで商工業発祥時代である大正中～後期の様子をみると、
商業面で一般的でやはり、衣（反物商）、食（米穀商）、住（材木商）がその大どころを占めていたようである。

このことは現在の協力会と同じような立場にあった「所得調査員」の人選などから窺えるところである。

記録によればこの「所得調査員」の人品、性行などまで残されているが、係わりのある虞れがあるので詳細は省略させて戴く。

工業面をみると地域性から大工場はなかったが、妙正寺川・神田上水沿いに染物・晒業が、淀橋地区には金属機械、化学製造業などが発達した。

そのなかでの最大手は六桜社（写真工業）で大正10年資本金２００万円で設立された。

現存するオリエンタル写真工業は同８年に創設されている。

又現在も製菓業の大手である明治製菓は大正６年に百人町で菓子製造を始め後に川崎に移っている。

なお、大正末期の旧淀橋署（豊多摩郡）管内の会社数は約３５０社で、現在の５署合計か働法人は45,600社となっており、うち現淀橋署管内は10,400社であるから約100倍となっているのではあるまいか。

又大法人（資本金50万円以上）は数社数えられたが、西武不動産の前身である箱根土地のほかは改組されたか現在見当らない。

時はうつり昭和初期となるや企業家は新宿の将来性に目をつけ、私鉄の乗入れ、デパー

ト、興行業、歓楽街などの進出が多く見られ帝都屈指の盛り場として発展の一途を辿ることとなるわけである。

往時の盛況を計り知るものとして、当時の東京市公報に

「不景気の嘆声も此処ばかりは他郷の空にも等しく…云々」と報じられており50年前からの盛況さを窺い知ることが出来る。

ただ、その中心は今とは少し異なり２～３丁目辺りが中心だったようである。

次にどうしても税金関係に触れないわけには行かないだろう。

昭和初期迄は所得税の納税者数も少く、極めて少人数の税務職員で処理されていた様が記録されている。又当時多額納税者が公表されていたかどうか判らないが、記録では次の二者が残っている。

角筈の㈱武蔵野館と同、高野芳之助である。

淀橋を話す場合この地域の特殊性として、（新宿駅周辺の商業ビジネス地区）と（落合地区の住宅地）の二面性をもっていることをあげなければならない。

新宿駅周辺については既に述べているので、ここでは落合地区について少し述べてみよう。

大正末から昭和にかけ当時雑木が丘と云われていた丘陵地帯を箱根土地㈱が開発し、目白文化村と銘打って分譲したもので当初坪50～70円位であったという。

現在もかなりの著名人が住んで居ることは周知のところである。

最後に大正から昭和初期にかけどのような著名人が淀橋に住んでいたか記録されている名士録のなかから一部を紹介しよう。

（政治家等）

西大久保 ～ 阿部信行、平沼騏一郎

角　　筈 ～ 岡田啓介

下 落 合 ～ 有田八郎

（文 化 人）

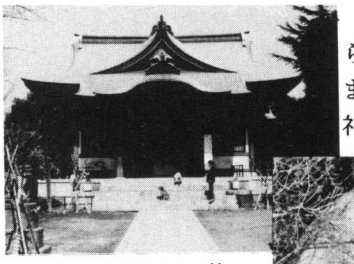
大 久 保 ～ 島崎藤村、小泉八雲

などである。

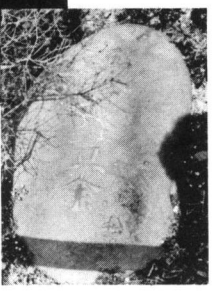
とりとめのない文章に時間を割いて戴ければ幸いです。

新宿の史蹟

①成子天神の力石（西新宿 8－14－10）

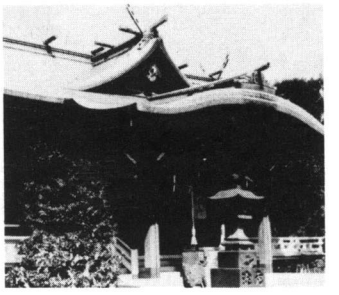


江戸末期から昭和の初めまで各地の祭礼で力較べが行われた。それに使った大きな石が力石。拝殿の銀杏の下に７個ある。（上　成子天神拝殿　店　58貫余の力石）



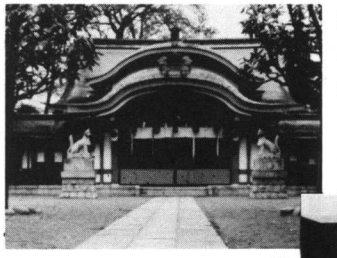
②熊野神社（西新宿２－11－２）

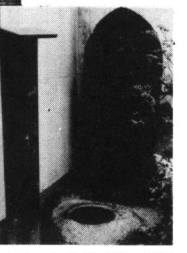
新宿中央公園の北西にある。本殿東側の手洗鉢は江戸時代の狂歌師大田南畝が寄進したもの。また十二社碑は十二社が風光明眉であると漢文で説明している。

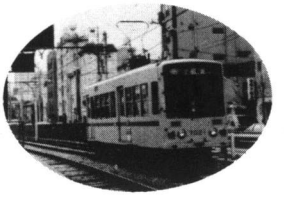


③水稲荷神社（西早稲田３－５）

附近の高田馬場跡は江戸時代に旗本が馬術の練習や、走る馬上から的を射る流鏑馬（やぶさめ）で武術を錬った処。また、この辺り一帯は太田道灌の故事にある山吹の里で、面影橋の近くにはその碑が立っている。







（上は水稲荷神社中は山吹の里の碑。左は面影橋付近を走る都電）

若さを保つ

㈱光芸　平塚　隆

私の現在の趣味であるテニスは現代社会の問題である〝運動不足・ストレス解消〟に一石二鳥の効果があります。

そもそも私がテニスを始めるようになったのはウィンタースポーツの「スキー」仲間がおり、足腰の衰えは高年齢化にともない非常に深刻に私達の心に感じられ、春夏いかに足腰を鍛えるかが問題であり、それによりいかに冬のスキーを楽しくするかが目的でした。

テニスは現在非常なブームであり老若男女「ギャルからローミセス」までこぞってテニスを楽しんでおります。

また若い女性ではテニスラケットを持って町を歩くのが一つのファッションにもなっているようです。

スポーツとしてのテニスは非常にハードでありまた一面非常にメンタルなスポーツと云えるでしょう。前後左右の球を追って「ダッシュ、ダッシュ」の連続であり、また精神的な集中力が必要でこの集中力がよく試合の流れを大きく変えることがしばしばあります。

また面白いことに血液型によってテニスの試合運びが非常に異るようです。

①A型

一口で云えば非常に「せこい」テニスで私もA型ですが試合には集中力があり相手の裏をかこうとするテニス。

②B型　↗

プレッシャーに弱く自分が如何に相手に格好良く見えるかが大変気になるようで、たびたび自分のテニスができない場合があります。

③O型

自分の気持がよければテニスの内容は二の次ぎと云う感じで最初に調子付くと手がつけられないような力を出すタイプです。

④AB型

私達の仲間には1人も該当者がなく残念ながらよく判りません。

上を見ればスーパーテニスの「マッケンロー」「コナーズ」などのテニス、下を見れば私達のミスの多いテニス　しかし下手は下手なりに楽しく遊べるのもテニスの良さであり青空のもと自分で体を動かし大汗を流す事の素晴らしさは、テニスによらず何のスポーツでも云えますが気持のよいものです。

最後にシャワーの後の冷いビール！

「これ又最高!!」



▲仲間とともに　前列向って右から3人目が筆者
中列右端はテレビタレントの　木の葉のこさん

編集後記

皆様のご協力により、「たっくす」4号をお届けいたします。

昨今、原油価格の値下げ、消費者物価の安定など、景気回復の兆しは見えはじめたものの、貿易摩擦の激化等厳しい経済環境が予測され、個人消費の低迷はまだまだ続きそうです。早期に景気が回復し、会員各社が益々ご繁栄になる事を編集員一同願っております。

今回は、㈱カワノ・代表取締役川野政三氏にインタビューいたしました。人生の機微にふれ、何かと参考になることと思います。

尚、表紙の写真は、森田編集員の尽力により、写真家小山昌男氏の作品を掲載させて戴きました。深く御礼申しあげます。

皆様のご意見・ご要望をお寄せ下さい。

編集事務局　㈱京王百貨店経理部管理課
342－2111　内3501
発行年月　昭和58年8月
発行者　淀橋物品税協力会